



ツマジロクサヨトウ注意喚起

病害虫名 ツマジロクサヨトウ (チョウ目, ヤガ科)

経済部
営農販売課長
馬場 博行

発生確認及び発生状況

2019年6月27日に南九州市の飼料用トウモロコシほ場で、ヨトウムシ類幼虫による食害が確認され、ツマジロクサヨトウの疑義があり、門司植物防疫所鹿児島支所に同定依頼した結果、7月3日に国内未発生のツマジロクサヨトウと確認されました。

本虫の寄主範囲は広いとされていますが、現在のところ、県内で被害を認めた作物は飼料用トウモロコシのみです。

種子島でも、飼料用トウモロコシに発生を確認しました。かんしょ・サトウキビには、発生は見られませんが注意喚起が必要です。

トウモロコシ、イネ、サトウキビ、サツマイモ、野菜類を食害する「ツマジロクサヨトウ」と思われたらご連絡ください。



[1]

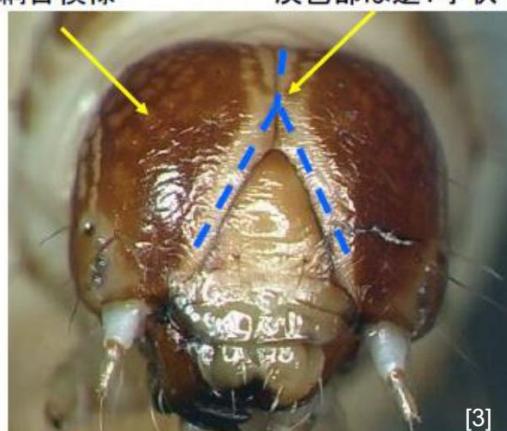


[2]

特徴

- 幼虫は大きくなると体長約 4 cm, 体色は左の写真のように変化があります。
- 頭部には網目模様があって「逆Y字」に見えます。

網目模様



淡色部は逆Y字状



[3]

被害の状況



幼虫の寄生

[5]

[1]～[5]は植物防疫所原図

